

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース



県中農林ニュース

第1号（平成29年6月発行）

編集・発行 福島県県中農林事務所

●あいさつ

●トピックス

- ・「水田メガファームモデル事業」をスタートしました。
- ・藤沼ダムからの通水を再開しました。
- ・森林保全巡視員永年勤続表彰・委嘱状交付式が行われました。
- ・CLTを活用した校舎が完成しました。
- ・平成28年度たむらの新・農業人サポート協議会総会を開催しました。
- ・三春町の平沢2区で遊休農地解消の取組が行われています。
- ・『田んぼの学校』を開催しました。
- ・元気な農村創生企業連携モデル事業キックオフミーティングを開催しました。
- ・ふくしまPR支援事業の事業説明会を開催しました。

●お知らせ

- ・キノコ及び山菜の出荷制限及びモニタリング検査についてお願い
- ・「第69回全国植樹祭大会1年前記念イベント ～育てよう希望の森を いのちの森を～」が開催されます。
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施します。
- ・「第1回全国さるなしサミット in 玉川村」が開催されます。

あいさつ



4月から県中農林事務所長となりました桃井栄一でございます。県中農林ニュースの今年度第1号の発行にあたり御挨拶申し上げます。

県中地域は、県の中心部に位置し、人口も県の約3割、53万人を超え、高速交通体系が整っていて消費や流通に優位性のある地域です。農林水産業におきましても、この高い優位性を活かし、地元の農林水産物の品質を高め、地元消費者への理解と消費を進める地産地消を推進し、GAPの取組などによりさらに消費地の拡大を目指します。

また、農業における、現在着手・計画しているほ場整備17地区を核とした担い手への集約化や、ブランド力の強化、林業における、森林整備の推進や木材の安定供給、しいたけ原木林の再生などに取り組めます。

県中農林事務所は「食の絆で地域と共に発展する県中地域の農林業」を基本目標に引き続き復興・創生に取り組んでまいります。

県中農林事務所 所長 桃井栄一

トピックス

「水田メガファームモデル事業」をスタートしました。

【農業振興普及部】

県では、低米価に耐えうる大規模稲作経営体を育成するため、平成29年4月に農業者、農機メーカー、市、J A、県（農業振興課、農業総合センター、農林事務所）で構成する「郡山地域農業技術革新推進協議会」を設置し、郡山市日和田町の「有限会社アグリサービスあさか野」のほ場において、ICTと先進技術を利用した現地実証事業を始めました。

今回の実証では、ほ場や管理作業情報を入力したほ場管理システムにより情報の可視化を図り、ほ場管理の効率化を進めるとともに、収量や食味などの作物情報を組み合わせることにより、翌年以降の栽培管理に反映させ、増収や品質向上に繋げることを目指しています。

加えて、先進技術である直進キープ機能付き田植機での移植作業を実施したところ、オペレーターからは植え付け作業が容易になり、労働負担軽減が体感できたとの声が聞かれました。



鉄コーティング直播作業



直進キープ機能付き田植機による移植作業

藤沼ダムからの通水を再開しました。

【農村整備部】

昨年12月末迄にダム本堤、副堤、取水工、管理設備等の主要工事が完成した藤沼ダムについては、本年1月18日からダムの安全性を確認するための試験湛水を開始し、箕ノ子川からの取水が可能で4月中旬まで貯水を行ってきました。

例年より冬期の降雪量及び降雨量が少なかったことから、満水には至らず試験湛水を完了することはできませんでしたが、試験湛水で貯水した水は、4月24日から7年振りに農業用水として供給が再開され、下流の受益地約830haの用水源としてダム本来の機能が回復したところです。

なお、試験湛水については、用水の利用がなくなる本年10月以降に再開する予定としており、平年並の降雨があれば2ヶ月半程度で満水となり試験湛水を完了できる見込みです。



第1号取水ゲートスイッチを操作し取水開始がダム

(操作者：江花川沿岸土地改良区職員)



第1号取水工から取り入れられた

下流部河川取付水路へ放水された状況

森林保全巡視員永年勤続表彰・委嘱状交付式が行われました。

【森林林業部】

これまで森林保全巡視員として林野火災の予防啓発活動や林地災害の状況調査などに御尽力いただき、勤続10年以上となった佐藤伸夫さん(田村市)に4月3日、福島県知事より永年勤続知事感謝状の贈呈がありました。

また、同日平成29年度森林保全巡視員委嘱状交付式が開催され、新たに塩田廣平さん(石川郡石川町)、昨年度に続いて磯貝 健(郡山市)さん、柏木和夫(須賀川市)さん、佐藤伸夫(田村市)さん、薄井 広(田村郡小野町)さんの5人が1年間の認定を受けました。皆さんの御活躍が期待されます。



(後列左から、桃井所長、佐藤さん(表彰者)、柏木さん、磯貝さん、佐藤部長、前列左から、塩田さん、薄井さん)

CLTを活用した校舎が完成しました。

【森林林業部】

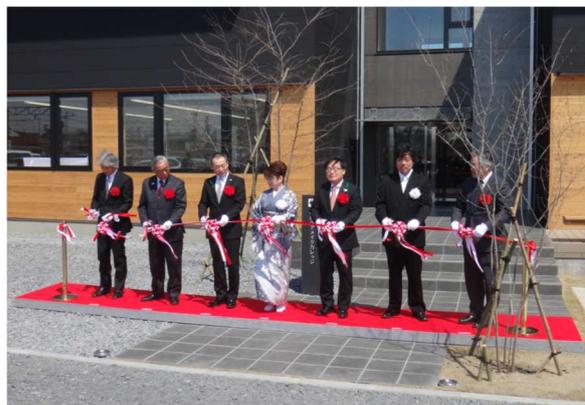
平成29年4月5日、さわやかに晴れ渡った春空の下、郡山ヘアメイクカレッジ新校舎の落成式が行われました。

今回、平成28年度森林整備加速化・林業再生基金事業の「CLT等新製品・新技術の実証・展示加速化対策」で県が支援に取り組み、一般社団法人郡山美容協会を事業主体として地域の設計事務所、木材加工業者、工務店等の関係者が密接に連携して完成に漕ぎ着けたものです。

この校舎は、林業の成長産業化の切り札とされるCLT（直交集成板）と、地元企業の独自技術である集成材ラーメンフレームを組合せた工法を採用しており、強固な構造と短期間の施工を両立させる実証建築として、CLTの普及を加速化するランドマークになることが期待されています。



郡山ヘアメイクカレッジの外観



関係者によるテープカット

平成28年度たむらの新・農業人サポート協議会総会を開催しました。

【田村農業普及所】

昨年5月に県中農林事務所田村農業普及所、田村市、三春町、小野町、JA福島さくらたむら地区本部、(株)JAアグリサポートたむら等関係機関・団体が構成メンバーとなり、田村地方における新規就農者の確保・育成に向けた協議会を設立しました。

総会では、平成28年度取組の総括、平成29年度の活動計画として首都圏からの新規参入者確保をより加速化させるための新・農業人フェア（7月、2月）の出展、現地見学会の開催、研修体制の整備、農地や住宅の情報収集等を行うことについて決議されました。

田村地方では、新規就農者に対し、関係機関・団体が一体となって就農前から経営安定まで継続的な支援を行っています。新規就農を希望する方は、県中農林事務所田村農業普及所まで気軽にご相談ください。

〔田村農業普及所 住所：田村郡三春町大字熊耳字下荒井176-5
電話：0247-62-3113〕



たむらの新・農業人サポート協議会総会

三春町の平沢2区で遊休農地解消の取組が行われています。

【田村農業普及所】

三春町の平沢2区では、中山間直接支払組織を中心にアンケート調査等を実施し、集落活動への取組について検討を重ねてきました。「何かをやらなかったことには始まらない！」との声の下、遊休農地の解消と地域振興のため、今年4月に約100aに桜、梅、ハナモモの苗木を植え付けました。

遊休農地の解消・拡大防止のほか、花見の名所として取組が広がることを期待しています。

写真（右）：4月16日花木定植作業
（田村農業普及所職員も支援参加）



『田んぼの学校』を開催しました。

【農村整備部】

子供たちに「農業、農村地域や環境、食、命の大切さ」について理解を深め、豊かな感性等を持ってもらうことを目的として、今年度も5月17日に郡山市立高野小学校において『田んぼの学校』を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、校長先生をはじめ1年生から6年生までの全校生徒41人が参加し、開校式の後、地元農家の方が所有する水田約100㎡に田植えを行いました。子供たちは、歓声を上げながら、また、ぬかるむ水田に悪戦苦闘しながらも、コシヒカリの苗を4、5本ずつ植えつけ、約1時間で田植え作業が完了しました。

今回が初めての田植えとなる1年生は、地元農家の方々の指導を受けながら慎重に植えつけをしていましたが、今回で3回目の田植えとなる上級生は、手際よく作業を行っており、これまでの体験が十分生かされているようでした。

今後は、7月中旬頃に「生き物調査」、10月には今回田植えを行った水田での「稲刈り」併せて「収穫祭」の実施を予定しています。



田植えの実施状況



全生徒による記念撮影

元気な農村創生企業連携モデル事業キックオフミーティングを開催しました。

【企画部】

平成29年5月29日に三春町・郡山市逢瀬町の両地区において、「元気な農村創生企業連携モデル事業」事業主体と受注者である(株)JTBコーポレートセールス、福島県農村振興課、県中農林事務所の担当者によりキックオフミーティングを実施しました。

本事業は、農林水産業再生のため、都市側企業と県内の農村部が地域資源を活用して交流と連携を促進し、農村地域における所得の向上と雇用の確保、さらには風評払拭につなげ、復興の加速化と元気な農村の創生を図る事業であり、両地区とも今年度で2年目になります。

キックオフミーティングでは、今年度の事業内容や実施スケジュールについて説明の後、事業主体からの要望内容等について打合せを行いました。

本年度についても、両地区において都市側企業を対象としたモニターツアーを開催することとしています。



三春町での打合せの様子



逢瀬いなか体験交流協議会での打合せの様子

ふくしまの恵みPR支援事業の事業説明会を開催しました。

【企画部】

本事業は、県内の市町村、民間団体等が、国内において実施する県産農林水産物や県産農林水産物を使用した加工品の販売促進活動に対して支援を行うことにより、風評の払拭を図り、県産農林水産物の販売・消費の拡大に資することを目的とした補助事業です。

平成29年度は、管内全ての12市町村と19の民間団体の実施計画が事業採択となり、うち7団体が、今年度初めて実施することになります。

この補助事業を通じて、販売促進を促し、県産品買い控え等に対する意識の払拭、安全・安心な農林水産物の消費拡大に繋がるよう支援したいと考えています。

今年度、事業採択された市町村・民間団体の円滑な事業実施を支援するため、事業の進め方や注意事項等について、23名の関係者が出席し、説明会を開催しました。

お知らせ

キノコ及び山菜の出荷制限及びモニタリング検査についてお願い

県中地域産きのこ及び山菜については、モニタリング検査の結果、食品衛生法の基準値（100ベクレル/kg）を上回る放射性物質が検出され、下記のとおり国から出荷制限等が指示されていますので、出荷しないでください。

記

平成29年5月15日現在

品目	制限等内容	市町村
野生きのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
こしあぶら	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
原木しいたけ (露地)	出荷制限	田村市（福島第一原子力発電所から20km圏内の地域に限る）
ぜんまい	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市
うど（野生）	出荷制限	須賀川市
うわばみそう (野生)	出荷制限	須賀川市
たらのめ (野生)	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、古殿町
こごみ	出荷制限	郡山市、田村市、古殿町、三春町
ふきのとう (野生)	出荷制限	田村市
たけのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、天栄村、田村市、三春町
ふき（野生）	出荷制限	天栄村
うるい（野生）	出荷自粛	郡山市

※出荷制限品目等については、県ホームページ等で最新の情報を確認してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/mon-kekka.html>

<モニタリング検査の実施>

県では、農林水産物の安全性を確認するため、市場や農産物直売所に出荷される「きのこ」や「山菜類」について、事前に緊急時環境放射線モニタリング検査（以下「モニタリング検査」）を実施しています。

出荷が制限されていない「きのこ」や「山菜」を市場等へ出荷する場合は、事前にモニタリング検査を受けて安全性を確認する必要がありますので、**未検査のものを出荷することがないようにお願いします。**モニタリング検査は一定の期間を要しますので、極力、発生初期に相談願います。

なお、「きのこ」及び「山菜類」のモニタリング検査に関する問い合わせは、県中農林事務所森林林業部林業課（TEL024-935-1370）までお願いします。



**『第69回全国植樹祭大会 1年前記念イベント
～育てよう希望の森を いのちの森を～』
が開催されます。**

平成30年春に南相馬市で第69回全国植樹祭
が開催されます。

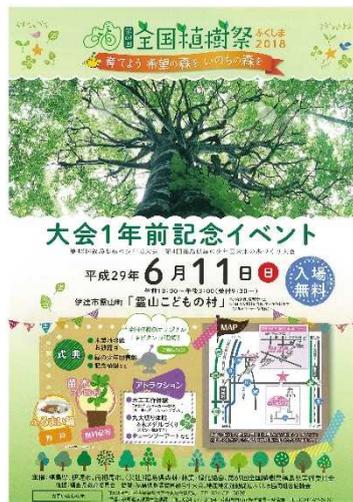
全国植樹祭は、国土緑化運動の中心的行事とし
て、昭和25年以来、毎年春に国土緑化推進機構
と開催都道府県との共催により、天皇皇后両陛下
の御臨席を仰ぎ開催されます。

その1年前を記念し、伊達市「霊山こどもの村」
においてイベントを開催します。

入場無料ですので、気軽にご参加ください。

日 時：平成29年6月11日（日曜日）
10：00～15：00

場 所：霊山こどもの村
伊達市霊山町石田字宝司沢 9-1
※当日は、伊達市役所から無料シャトル
バスが運行されます。



**「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン
を実施します。**

県産農林水産物のおいしさや安全性を再確認
していただき、風評払拭と地産地消を推進する、
「おいしい ふくしま いただきます！」キャン
ペーンを実施します。

また、県中管内の「がんばろう ふくしま！
応援店」に登録いただいている直売所でお買い
物された方を対象に、抽選で県中地域特産品等
をプレゼントします。

奮ってご応募ください。

【期間】

第1回 平成29年6月1日
～平成29年8月31日
※当日消印有効

第2回 平成29年9月1日
～平成29年11月30日
※当日消印有効

『第1回全国さるなしサミット in 玉川村』 が開催されます。

全国的に希少な果樹“さるなし（こくわ）”の果実や葉等に含まれている多くの栄養や健康効果等について、全国の産地が結集しPRを行い、さるなしの知名度向上と産地間交流を図ることを目的として開催されます。

当日は、さるなし商品の試食・試飲、販売やスイーツづくり体験等も行われますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日 時：平成29年7月30日（日曜日）
10：30～16：30

場 所：たまかわ文化体育館
石川郡玉川村大字小高字大谷地71



お問い合わせ先

福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号
TEL (024) 935-1510 FAX (024) 935-1314
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>
メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp